

単元名 【旧】たのしかったよ ドキドキしたよ(絵)

配当時間 5時間

単元の目標 (1) 心に残ったことを自分なりに表すために、形や色を工夫することができる。
 (2) 生活の中で心に残った出来事やそのときの感じを基に、表したいことを考えることができる。

友達と絵を見せ合いながら、表したかったことや表し方の工夫を話し合うことができる。
 (3) 生活の中で楽しかったことやドキドキしたことなどを思い出し、そのときの感じを楽しく絵に表そうとする。

標準的な展開例

02080111_001

【準備等】画用紙、色画用紙、共同絵の具、作品カード、クレヨン、パス、サインペン、割り箸

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 生活の中から、楽しいと感じたときのことを思い浮かべどんな絵をかくか考える。</p> <p>○教科書の参考作品を見て、気付いたことや感想を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川にたくさんいるアメンボをとっている。 ・雨にぬれても頑張って踊っている。 ・赤いもみがきれい。 <p>★生活の中から楽しかったことやドキドキしたことを思い出して絵に表そう</p> <p>○生活の中から、楽しいと感じたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄棒をした。 ・うさぎをだっこしたら温かった。 ・遠足に行ったときのお弁当がおいしかった。 ・妹となわとびをして遊んで楽しかった。 <p>○かくことを決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かきたいもの ・人の表情や動作 ・周りの風景や物 <p>2～4 楽しいと感じたときのことを絵に表す。</p> <p>○線でかく。</p> <p>○彩色する。</p> <p>5 表した絵を友達と見せ合い、感想を発表し合う。</p> <p>○作品カードを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の題 ・かきたかった気持ち <p>○表した絵を友達と見せ合い、よいところを話し合う。(言語活動)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書上1・2下 P.18, 19 ・教科書の参考作品を見せて、かいた児童の気持ちを想像させる。 ・形や色、表し方の工夫にも注目させる。 ・大きな行事だけでなく、日常の何気ない場面でもよいことを助言する。 ・その時の気持ちを思い出し、情景を思い浮かべさせる。 ・クレヨンやパスなどを使い、楽しい感じになるように形や色を考えながら絵に表す。 ・絵の具は、前もって教師が皿に水で溶き、その色専用の筆を用意しておく。 ・児童にパレットに代わる皿で各色をとらせ、皿の中で混色して使うようにさせる。 <p>【評】作品を通して、心に残ったことを自分なりに表すために、形や色を工夫する「創造的な技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そのときの気持ちを表すような題を考えさせたり、絵で表せなかった気持ちを書かせたりする。 ・作品カードを手がかりに、気持ちを表そうとしているところや表現の工夫に気付かせる。 <p>【評】話し合いの活動を通して、「鑑賞の能力」を評価する。</p>

【 備 考 】